

1 ごあいさつ

日本サーバス中国四国支部長 T.M.

新緑の美しい季節となりました。大阪万博も始まり、人の往来が増えています。訪日外国人観光客の数はコロナ前を上回ったというニュースもありました。日本サーバス中国四国支部にも、新年度を迎えてホストデビューをした会員の楽しい話題などが届いています。

3月には初めて支部長として国内会議に参加してきました。これまでZOOMではお会いしていましたが、本部役員、他支部役員の方々と初めて対面でお話することができ、サーバスに対する理解を深めるよい機会となりました。そして、歴史あるこのサーバスを絶やしてはいけないという先輩方の強い気持ちをひしひしと感じました。サーバス会員だというだけで、すでに垣根を一つ越えているかのような親近感と仲間意識が国内会議全体にありました。

昨今、中国四国支部のみならず、日本サーバス会員の高齢化が大きな課題となっています。また、支部の会員は中四国9県で約20名と少なく、中には会員ゼロの県も複数あります。とはいえ、サーバス会員の安心、安全を考えると、インスタなどを通して若い人にどんどん宣伝すればいいというものでもありません。こんな今、私たちにできることは、私たち自身がこの活動を楽しむことではないでしょうか。団体ですから規則や制約はありますが、旧態然とした時代に合わないものはできるだけ無くして、今の自分たちが本当に楽しめるサーバスにしていけたらと思います。そのためには皆さんの協力が必要です。楽しいこと、一緒にやりましょう！



本 号 の 内 容

- | | | | |
|---|--------------|-----|---|
| 1 | ごあいさつ | P1 | T.M. |
| 2 | 新会員自己紹介 | P2 | Y.M. ・ T.A. |
| | | P3 | K.A. ・ K.M. |
| 3 | 新旧役員あいさつ(会計) | P4 | H.T. ・ K.T. |
| 4 | スペイン旅行記 | P5 | T.M. |
| 5 | トラベラー受け入れ報告 | P8 | U.S. (2024年11月)・ S.S. (2025年4月) |
| | | P9 | U.T. (2025年4月) |
| | | P10 | K.A. ・ K.M. (2025年4月) |
| 6 | 春の例会報告 | P12 | T.M. |
| 7 | 編集後記 | P13 | N.M. |

2 新会員自己紹介

サーバスとのご縁に心から感謝

Y. M.

公務員として長年勤めていましたが約4年前に退職し、今は愛媛県伊予市の実家に住んでいます。人生を模索する中、伊勢神宮を旅行した際に泊まった宿のオーナーさんにサーバスのことを教えていただき興味を持ちました。しかし、海外を旅して現地の方と交流して視野を広げたい想いはありながらも、外国語がほとんど話せないため申し込みをしてよいのか不安でしたが、トラベラー会員として認定し国際交流を可能にしてください心から感謝しています。

私は菓膳を学んでいるため、初めてのサーバス旅行では台湾を旅しました。日本語の先生をされていたデイホストさんとの出会いをきっかけに、おかげ様で台湾の北・中・南を巡り各地域の歴史と魅力を知り、現地の方との交流を通して一生忘れられない特別な思い出をつくることができました。特に印象的だったのは、台湾の人達のおおらかな優しさ、台湾は多民族国家で人と違うのは当たり前だということ、国が違えば常識は変わるということです。他にも本当にたくさんの気づきがありました。

この旅を終えて、以前の私は「～しなければならない」「こういうものだ」と固定概念の塊で人目が気になりストレスを抱えることが多かったんですが、視野が広がり物事を柔軟に俯瞰できるようになりました。

今後は、暮らしを楽しみながら菓膳の知識を活かして必要とされている方の健幸をサポートをする仕事をしていこうと考えています。それから、英語を学んで海外を旅して異文化交流してみたいという新たな夢も生まれました。

改めて、サーバスとのご縁に心から感謝しています。

一つ屋根の下での国際交流

T. A.

初めまして、昨年入会させていただきましたT. A.と申します。

職場で知り合いの方とお話させていただいていた中で、サーバスの活動について伺い、大変興味のある分野でしたので詳しく教えていただき入会させていただくこととなりました。

仕事の関係で海外の方と接する機会が少しあるのですが、休日に個人レベルで交流するという段階までにはなかなかいかず、どうすれば国際交流の場を設けることができるのか、せっかく海外から日本に来られている方におもてなしをする機会はないのか、という思いがありました。

また、現在、小学生二人の子育て中であり、子供達にも国際交流を通して、様々な経験をしてほしいと考えておりました。

サーバスの活動を詳しく伺って、私の願っていた国際交流が実現できるのでは、と大変嬉しい気持ちになりました。

仕事、子育てに忙しく日々を送る中で、自分にホストとしての活動が務まるのか、入会するまでとても不安でしたが、会員の方に、自分のできる範囲で楽しんで参加すればいい、とアドバイスをいただき、新しい世界への扉を開けることにしました。

これから、“一つ屋根の下での国際交流”で世界各国の方々をおもてなしし、国際交流の経験を深めていけることを楽しみにしています。

初めまして

K. A.

K. M.

今年1月に会員になりました岡山県倉敷市在住のKと申します。息子が中学生の頃、ニュージーランドの学生のホームステイを受け入れたのが始まりで6か国8名程のホームステイを受け入れてきました。夫婦とも国際交流、人と話すのが好きな方でまた機会があれば受け入れたいと思っておりましたら、妻がロンドンオリンピックの年にうつ病発症。12年間闘病がありましたが保護猫を飼いだして幸運にも鬱から抜け出す事が出来ました。以前から同級生が天津でサーバスの活動しているのを知っておりしたのでこれを機に思い切ってサーバスデビューを果たした次第です。

ホームステイを受け入れたときは2DKの狭いアパートでしたから、最初来た学生は目を丸くしてびっくりしていましたが帰る時はこの家で良かった！一緒に来て別のホスト先にステイした学生は連日神社仏閣に連れて行かれ飽きていたと聞きました。

4年前妻の広い離れもある実家に引っ越しましたので訪れた人が遠慮なく、こちらも気を使わずサーバス活動出来ると思います。バス、トイレ、キッチンも離れにありますが無論、食事は母屋で一緒にバスも母屋で使って頂くつもりです。

妻はK.M. 67歳、私68歳、国内旅行でもホテル、旅館はあまり使わずユースホテル、ゲストハウス、車中泊が多く宿泊先で旅の人といろんな話すのが楽しみです。サーバス入会前ですが、去年は近くの観光地で猫と車中泊をしていた名古屋から来られていたご夫婦と話しが合い次にこちらに来られた時、1泊され、この5月にまた1泊される予定です。今年は京都の龍安寺に行った際、庭の手入れをされていた女性に、大変ですねの声かけから、またまた話が合い1か月後に我が家に2泊して頂く事になりました。6月にはその方がまた来られ四国の山に登る予定にしております。そんなこんなで世界中、日本中に縁が広がって行くのが楽しみな夫婦です。

私たちもまずは国内のサーバスメンバーの日本人観光客大歓迎の方の所を訪ねてみるつもりです。もう熊本の方、舞鶴の方と連絡を取り電話、WhatsAppで繋がりました。そんなおかしな夫婦ですがよろしくお願いします。

中国四国支部会員数(2025/5/31 現在)

広島県	12名	愛媛県	1名
岡山県	2名	山口県	1名
鳥取県	1名		

計17名(家族会員含む)

3 新旧役員あいさつ(会計)

会計係を終えて

旧会計係 H.T.

2年前に会計係を引き受けるにあたってまず最初に述べたのは「淡々と仕事を進めるだけ」でした。サーバス会計係として20年余りの経験がある前任者から会計書類一式を引き受けた時、印鑑類以外、金銭出納簿を初めノートや USB 全てが真新しいのに気が付きました。前任者が自前で整えたものでした。Excel の作業初めが2019年となっています。わずかな記憶と資料を辿り、2019年前後の中四国支部の目まぐるしい変化を思い起こしました。

2019年前後に京都で臨時国内会議が開催され、当時の中四国支部関係者2名が日本サーバス会則第9条に則って会員資格を喪失された事、当時の副支部長とホストコーディネーターが大変な思いの連続であったこと等、など。数々の難題が発生する中、2019年3月16日、17日に広島市で第41回国内会議が開かれました。[Home Page 「国内会議・議事録」を参照。画面上の緑色のバーの1番左のタイトル「国内会議・議事録」から入り(クリックして、過去の記事を開く)をタップすると、2019年3月日本サーバス国内会議議事録が出て来る]この国内会議を機に、新体制の元、広島銀行を金融機関に選び、新たに財務を始めたという経緯を確認しました。

Hは、過去の欠損は見識を深めるための授業料だと割り切って、前に進むスタンスを持ち続けたい、という願いから「淡々と仕事を進めるだけ」の2年間でした。

サーバス精神の理想は「前面に立つ」姿勢だ、とHはまじないのように思い込んでいましたが、今は、この背負いこんでいたまじないから解放された気分です。

地元の広銀に通帳記入に通い、振り込み券を使って本部にLOI認定料や拠出金を振込む等、アナログのやり方に終始しました。次の会計担当者は、中四国支部の財務をネットに登録されて、net banking されているようです。頼もしいですね。

予測出来ない現代社会で、支部会員が連絡を密にして、安全で実り多いサーバス交流をなさいますよう祈念しながら……。

「おもてなし文化」もほどほどに

新会計係 K.T.

この度、会計のお役目をいただきました。行き届かないことも多いと思いますがよろしくお願いします。

私がサーバスの活動に入会したのは、2020年コロナ禍でしたので、しばらくはホストの依頼もなく、あまり関心もなく過ごしてしまいました。何度か中四国支部の巡検に参加させていただくなどして皆様と触れ合うにつれて、真面目なしっかりとした組織だとわかりました。さらに、今年3月に九州での国内会議に参加し、また糸島観光にも同行させていただいたことで、日本サーバスが会員の尽力で支えられていることを知りました。皆様の帰属意識の高さを知り、初めて参加した者にも温かく接していただいて楽しい旅となりました。

私は昨春、長く務めた教職に区切りをつけましたが、7月に兄から声がかかり介護事業所を手伝い始めたのが運の尽き、今はこの事業所をどう存続させていくか日々取り組んでいます。

今、日本社会の多くの組織が抱える高齢化には深刻なものがあります。28年前に創業した事業所で、そのころ50～60歳代だった者も、逆に介護される側に回りつつあります。ヘルパーの高齢化による不足は深刻で、日本の介護保険制度の行く末を案じております。そういう私も助けてもらう側になるのはそう遠くありません。

実は日本サーバスの国内会議に参加しましたときにも同様の問題を感じてしまいました。積み上げた歴史と理想とは裏腹に、存続の危機を抱える組織は日本のそこかしこにあります。後継を育てることに失敗している組織も多いと思われます。

だんだん日本社会は多くを望んではいけない社会に差し掛かってきたのに気づいた私達。発想の転換が必要です。若者に保険料の負担を強いる医療制度や介護制度には「死生観の見直し」を。医療の現場でも、「可能な限り延命を」ではなく、「穏やかな最期」にシフトする時期ではないかと言われ始めています。

ボランティアには「持続可能性」、「ほどほどに」で良しとする発想。無理なことは見直す、相手に無理なサービスを求めない。できることで良しとするなどです。大事なことは気持ちよく続けること。そこかしこの組織が悲鳴をあげているのを見るにつけ、「ほどほど」の発想があったらいいのにと思います。「おもてなし文化」もほどほどに。楽しいが続く範囲内でどうでしょう？すみません、真面目でなくて。

4 スペイン旅行記

若きピカソに会いにバルセロナへ

T. M.

出会いは一枚の絵、「ベレー帽の男」。1894 年ピカソ 14 歳の時の絵です。この絵を見て美術教師だったピカソの父は息子に絵道具を全てゆずり、引退したとか。その絵の下には Museu Picasso, Barcelona の文字。私は今までヨーロッパへ行ったことがなく、いつか絵画を見に行きたいとずっと思っていました。ピカソが絵を習い始めた頃ってどんなだったろう？ちょっと若きピカソに会いにバルセロナへ行ってみようかな……。昨年 12 月、そう思ったのです。

ところが……。中国や東南アジアへ行く時は「いってらっしゃーい」と言う夫が「ヨーロッパなら俺も行く。」え、そうなの？ここで問題が二つ。夫とは 2011 年の冬、ロスアンジェルスに行ったのが最後、一緒に海外旅行していません。ささいなことで機嫌を損ねて、喧嘩したからです。その時は子どもたちがいたのでなんとか収まりましたが、今回 2 人ということになれば、なんとしてもいい機嫌で過ごしてもらわねばなりません。もう一つはサーバスです。夫はとても気配りができる人で、ホストとしてトラベラーをもてなす時は精一杯がんばるため、トラベラーには大変好評なのですが、本人は気配りし過ぎて疲れ果てるのです。だから、他人の家に泊まるなんて気疲れで倒れる！ということで、サーバスの泊まりはなし。今回はデイホストしてもらいましょうということに決めました。それから急遽サーバスの家族会員に登録、そして LOI を申請しました。同行家族は新 SOL になってから一枚の LOI にできます。飛行機とホテルの手配は仕事も忙しくて面倒になり、JTB のフリープランにお任せ、3 月末に出発することになりました。

デイホストに決めたのはバルセロナの G. S.-P. さんです。決め手はメールの返事が早かったこと、そして私たちが希望した日は都合が悪いけれども、他の日ならどうかと言ってくれたこと。そういう人はいい人に違いないからこの人にしよう！と。（それは間違っていないでした）



出発前の予備知識として読んだのは、『カタルーニャを知るための 50 章』（明石書店）。このシリーズは世界各国のものが出ていておすすめです。バルセロナのあるカタルーニャ地方は独立意識が高く、スペイン語とカタルーニャ語が公用語であるなど基礎的なことを教えてくださいました。

さて、G さんとはピカソ美術館見学のあとで待ち合わせ。東アジア人はほぼ私たちだけだったのですぐに見つけて声をかけてくれました。彼女は退職した元司書さん。サーバスに入会してまだ 1 年、私たちが初めてのトラベラーでした。離婚後生まれ故郷のバルセロナに戻ったそうで、自分が学生時代に通った美味しいパン屋や、マーケット、旧所名跡を紹介しつつバルセロナのゴシック建築が多い中心部を一緒に歩いてくれました。

公的な建物には EU、スペイン、カタルーニャ、そしてバルセロナと 4 つの旗が立っています。カタルーニャの旗でも中に青い星のある旗を窓に掲げている家は独立派の人の住む家だということ。サッカーのバルサ対レアルはサッカー版独立戦争みたいであること。カタルーニャ土産の「ウンチをしている人形」がおふざけでもなんでもなく、クリスマスに飾られる由緒ある飾りだということなど、彼女の話で知ったことはたくさんありました。以前ホストしたフランスのトゥールーズから来た会員からも聞いたのですが、フランス南部の会員とスペイン北部の会員で年に一度ピレネー山脈へ南北両側から登るイベン



トがあり、去年参加して楽しかったと話してくれました。彼女の都合でほんの2時間ばかりでしたが、本当によい時間でした。

ピカソ美術館でも、その前に行ったミロ美術館でも、先生に連れられた子供たちがたくさんいて、絵の前



で模写をしたり、お話を聞いたりしていました。夫は小学校の校長をかつてしていたのですが、「子どもってどこへ行っても同じだな」「言葉は違うけど、きっと日本の子どもと同じことを言ってふざけてるはずだ」と目を細めていました。

もちろん、バルセロナに来てガウディを見ずに帰るわけにはいかないということで、サグラダファミリアとグエル公園に行きました。今回日本で予約したのは、この2つとピカソ美術館、そしてカタルーニャ音楽堂のコンサートチケットです。全てQRコードがメール添付で送られてくるのでプリントアウトして持っていくだけ、簡単です。時間があつたので、サグラダファミリアには4時間ぐらいいて、中でずーっと座っていました。日本語の音声ガイドもあり、すみずみまで勉強した気がします。カタルーニャ音楽堂では、ショスタコーヴィッチのピアノ曲をユリアンナ・アヴデーエワの演奏で聴きました。スペインで聴くロシアの作曲家とピアニスト。ロシアの芸術はこれからどうなるんだろ



サグラダファミリア内部

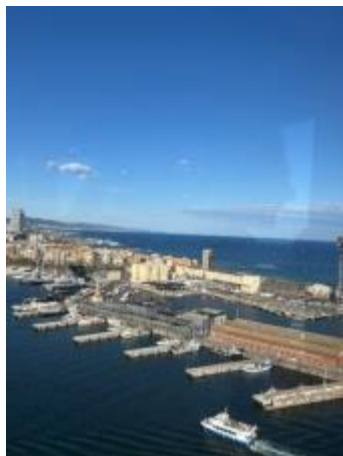


グエル公園

うと思うと少し悲しくなりました。(小曲の連続だったので眠気との闘いでもありました。ヨーロッパのコンサートは始まりが遅いのです。そして帽子を置き忘れました。)

その他行ったところは、ガイドブックどおりにモンジュイックの丘、スペイン広場、オリンピック会場あと、コロンブスの塔などです。バルセロナは地下鉄も便利ですが、主要なところは歩いて回れます。一日2万歩以上歩きました！

食べ物にはあまりお金をかけない私たち、ちゃんとしたレストランはフラメンコショーを見た時の1回だけでした。あとは、モールのフードコートでスペイン風サンドイッチやタパスを食べたり、地元のスーパーでお惣菜を買ったりしました。Google 翻訳のカメラ機能でメニューを見て、「これはちょっと高いから、タパスのいろいろセットじゃない？」「そうだね、大体大盛だからこれだけでいいかも。」といって注文したタパス。夫が取りに行行って戻ってきたら「これだけだったー(涙)。」それはセットではなくて超高級イベリコ豚の生ハム。高いわけです。とても美味しかったのですが、お腹にはとても足りませんでした。また、地元のビールを買いにスーパーへ行くと、さすがスペイン、ワインの方が安いのです。400円くらいで一本買える！しかし私たちは今回ワインオープナーを持ってきていません。探したのですが見つからず、あきらめかけていた時、背伸びしているおばあさんの手の先になんと紙パック入りのワインが！！これがジュース並みの値段なのにととても美味！スーパーのお惣菜のスペインオムレツは中のジャガイモと卵の融合具合が絶妙でした。(帰国後、試行錯誤してやってみますが、いまいちうまくできません。)



さて、夫の機嫌はどうだったか？今回はなんとか持ちこたえました！勝因は、4日間、バルセロナ市内だけ、欲張らずにのんびり、世界街歩きみたいな過ごし方をしたので、移動がなかった分、イライラしなくて済んだことです。お天気も味方してくれました。私も、一人旅と違って面白かったのは、日本語でずっと好きなことをしゃべっていられたこと。日本人がほとんどいなかったの、何を言ってもわからないだろうと、本当に好き勝手なことを歩きながら二人でしゃべっていました。（例・昼間からカフェでだべっている人を見て「スペイン大丈夫か？働け！」「ゴミ箱とベンチだらけなのにどうしてトイレがないんだ！」etc.）大収穫はサーバスに対する夫の評価が上がったことです。人見知りをしたり、知らない人の家に泊まるのをストレスに感じる人でも、サーバスのいいところをうまく使って旅をすることもできるんだなと思いました。シニアの旅、無事だったのは偶然かもしれません。LOIの有効期限が1年間なので、もう一度どこかに行こうと今計画していますが、慢心は禁物ですね。

ところで、すでに書きましたが、バルセロナに帽子を置き忘れてしまいました。今、私の帽子はかの地で第二の人生を歩んでいます（おそらく）。なんか自分の分身を残した気がしています。

さて、今回の旅のきっかけであったピカソは長生きで多作です。また絵を見に行きたいのですが、彼の作品は世界中にあるためとても全部は見られないでしょう。でも、必ずまたどこかで次のピカソに、そしてゴッホに、セザンヌに、マティスに、シャガールに会いたいです。ベートーベンやシューベルトにも会いたいな。（欲張り）きっとサーバスは大きな助けになってくれると思います。そして、そのためにも足腰を鍛えておかなければ、と4階の教室へせっせと上り下りをして授業をする毎日です。



美術館にあったパネル写真の前で

ピカソ美術館はフラッシュを使わなければ写真撮影は自由でした。
うれしいですね。

5 トラベラー受け入れ報告

カナダからのトラベラーと狂言鑑賞

U. S.

日 時 2024 年 11 月 30 日

トラベラー D & D. F. (カナダ)

「日本アイランド協会」主催の京都・大蔵流狂言『猫と月』上演（パイプオルガン演奏含む）が世界平和祈念聖堂に於いて開催される日でした。カナダ、アルバータ州から来広のお二人もご興味がおありとのことで、一緒に鑑賞しました。終了後、荘厳で華麗なパイプオルガンの音色に魅了された D の「パイプオルガンを是非見たい！」というリクエストがあり、教会の方をお願いし、二階にあるパイプオルガンを拝見することになりました。狭い螺旋階段を上ると、聖堂の外陣最後部の壁面に設置されていて、その大きさに驚きました。1952 年に第二次世界大戦で広島と同じような戦争の災禍を経験したドイツ・ケルン市民から広島市民に寄贈された貴重なパイプオルガンです。D のお陰で、初めて間近に見ることができ、感動しました。



狂言鑑賞後、教会の近くにある友人の藍染めギャラリーでお茶を頂きながら、世界情勢に関する会話をしました。「現在の世界リーダーはプーチン、トランプ、ネタニヤフなど常識を逸脱した crazy な人々ばかりである。」「トランプ大統領がカナダ製品に 25% の高関税を課したとしても、カナダはアメリカには輸出するつもりはないし、輸出できる国々は他にたくさんあるので問題ない！」と強気でした。

すっきりした会話で盛り上がり、夕食は「みっちゃん」でお好み焼きをご馳走しました。美味しいお好み焼きに「この店でアルバイトしたい。」と冗談も飛び交い、楽しいデイホストの一日でした。

桜の季節の訪問者

S. S.

日 時 2025 年 4 月 2 日

トラベラー S. G. (UK)

安芸津町の正福寺山公園の桜がツボミの季節に、彼女はやって来た。外国から来た訪問者とは思えない程、彼女は屈託がなく、とても日本になじんでいた。私は早速彼女を公園へ連れて行った。その日は平日だったので人もまばらで、気持ちの良い晴天の午後だった。その公園には私の母の喜寿、私達夫婦の銀婚式、2 人の



の息子の中学校入学祝いの記念樹が植えてある。それらを紹介しながら歩いた後に、瀬戸内海と桜の景色が目前に広がっているベンチに座って、お弁当を食べることになった。彼女がベジタリアンのビーガンだと知っていたのだが、何が食べられないのか詳細は分からなかった。私が作ったのはバラ寿司だった。それを見せながら、食べられないものを出してもらう事にした。カニカマと卵焼きとえびはだめらしい。ご飯と具であるごぼう、人参、油あげはオーケーみたい。彼女はオーストラリアではアニマルシッターをしていたようだ。初耳なので、詳細を尋ねると「人間の介護をするのと同じよ。」と返事があった。「動物が好きなので、その肉なんて到底食べられない。」とも言った。それを聞いて私なりに合点した。彼女はヨガもしているようで、何か一つ信念を持っていて、精神的な自由も持っている女性のように感じた。

英国からの新感覚トラベラー

U. T.

日 時 2025 年 4 月 1 日～3 日

トラベラー S. G. (UK)

英国からのトラベラーである S さんは、桜の咲き誇る季節にわが家を訪れました。なんと英国を出発して一年以上も一人旅をされている方でした。ペットシッターをしたり、カウチサーフィンという組織に登録してステイ先を見つけたりしていたそうです。サーバステイはわが家が最初だったそうですが、旅慣れているのが分かりました。好奇心旺盛で明るく楽しくおしゃべりする一方で、できるだけホストに負担をかけないような心遣いをされる方でした。ビーガンのため、肉・魚だけでなく、乳製品や卵も食べないので、野菜やお豆腐を使うなど工夫して一日目の夕食をお出ししました。



二日目、私は出かける日で、支部メンバーの S. S. さんが午後デイホストをする日でした。S さんは呉で翌日の新幹線の予約をしたあと、お昼までご自分で呉駅周辺の観光を楽しまれたようで、写真が SNS にアップされていました。それ以後も逐一 SNS にアップされていたのですが、短時間に物事の核心をつかんで吸収する力を持った方だと感じました。お仕事がケアマネージャーだそうで、様々な経験をされてきたのでしょう。二日目の夕食は S さんがビーガンのためのパスタ料理を作ってくれたので、楽でした。



三日目、私もオフの日なので、スーツケースを駅に預けて、平和公園をご案内することにしました。公園内の碑巡りをしたあと、ビーガンのお好み焼きを作ってくれる店で昼食をとり、平和資料館に入館する彼女とお別れしました。S さんを通じて、スマホを駆使して旅をする時代になったことを強く感じましたが、やはり地元の人に聞かないとよくわからないこともあるので、改めてサーバス旅行の良さも実感しました。



サーバス初ホスト体験談(No1)

K. A.

K. M.

日 時 2025 年 4 月 15～18 日

トラベラー R. O. (フランス)

今年 1 月にサーバス会員になり、2 月にはアメリカのカップルから 4 月 20 日から 22 日のステイオファーがあり、こんなに早くと思っておりましたら、続いてフランスの陶芸家からまたまた 4 月 15 日から 17 日のオファーが！嬉しい悲鳴でした。20 日と言うと中国四国地区サーバスの会議が予定されており、入会したばかりなので参加させて頂くつもりでしたが、ホスト優先させてもらう事になりました。

アメリカのカップルの滞在中の 21 日は私の 68 歳の誕生日、22 日は去年我が家に 2 匹目の保護猫として来た銀子メスの 1 歳の誕生日、何か運命を感じました。

4 月 15 日、いよいよサーバスで初のホストです。この日まで何通ものメールをフランスの陶芸家、O と交わして来ましたが、それで相手の人間性、人となり分かるものです。きっちりところらの聞いている事に返事してくれました。我が家の最寄りの駅は新倉敷で、在来線で 2 つ東には倉敷駅があり



ます。それに新倉敷駅には新幹線のこだましか停まりません。外国の方には勘違いされ易いと思い、詳しく説明をメールでしました。15 日当日の朝のメールで新倉敷駅で 14 時に会おうと O から連絡あり、時刻表を調べましたが、その 14 時に着く新幹線、在来線が無い？ヨーロッパでは電車の時間は日本ほど正確では無い事を知っておりましたので 1 時間か 2 時間は駅で待つのを覚悟で迎えに行きました。14 時きっかりに駅の南口に O が降りてきて、私の取り越し苦労、ヨーロッパに対する偏見だった事を恥ずかしく思いました。

メールで思っていた通りのジェントルマンで礼儀正しく、フレン



ドリーな人柄、自分の作品の綺麗な青色の小皿のお土産を頂きました。

食事は純日本の田舎料理、季節のタケノコの木芽あえ、ねぎのぬた、炊き込みご飯も食べてくれました。次の日は日本六古窯の一つの備前焼きの作家の所へ案内して二日目は私の親戚の陶芸家の家で作品を見学その家にある茶室を体験してもらいました。当初 17 日までと言う予定でしたが、出来れば 18 日朝我が家を立ちたいと言うので快く 17 日夜もう一泊を引き受け、最後の夕食は O が食材を買ってきてパスタを料理して頂きました。日本の田舎の暮らしを体験頂いたと確信して 18 日朝 O を送り出しました。



我が家の No1 ホスト 銀子

サーバス初ホスト体験談(No2)

日 時 2025 年 4 月 20～22 日

トラベラー K. L. & R. S. (アメリカ)

二日後にはアメリカのカップルが続いてやって来ました。妻は料理のレパートリーを気にしておりましたが、食べる人が違うので同じ物でもいいかと出しました。そのカップルはどちらも29歳、息子と娘の様です。どちらもコーヒーを飲まず、日本茶、抹茶、醤油を好み、炊き込みご飯は好んで食べました。

案内は一日目はしまなみ海道で多島美を楽しんで頂きました。帰って夕方は近くを散歩するというので、我が家の近くの高梁川河口、のどかな田舎の風景を案内し、帰りに近くのホームセンターに寄りましたら、アメリカのスーパーとの品物の分類を比較して興味深く見入っていました。

その日の夕方、広島のスーパースタッフ、S.Y.さんが彼らの予定を聞いて来られ、「明後日、10時に平和公園で約束している。」と言われ、「え！？日本に着く前は確か我が家の次は広島に行く予定だ。」と聞いておりましたが、我が家に着いてから再度後の予定を確認しましたら、この後神戸に向かうと聞いておりましたので、もう広島へは行かないと私が勝手に思い込み、「広島には行かないみたいです！」と答えてしまいました。その後彼らに再度確認すると神戸のホテルに一泊して広島に日帰りで行くと言うではありませんか！すぐSさんに電話して訂正しました。サーバスメンバーとこのようにホスト同士横のネットワークで繋がる事ができて嬉しく思います。



プレゼントを着てみました

二日目は倉敷美観地区を案内、お土産に小ぶりの抹茶茶碗を2つ購入、スーパーで重い醤油ボトル2本、お菓子は全て抹茶入りの物を選んで購入する程のジャパニーズテイスト！

最後の夜、二人は何やら大きな服の様なものを出して来てプレゼントだと差出しました。来日する前メールでアメリカから何か持っていく物はないかと聞いてくれましたが、私はあなたたちの笑顔で十分ですと返事したのに、家内と私に冬用の部屋着、パーカータイプの暖かそうなローブではありませんか。彼らの住むミシガン州は緯度が北海道と同じ位でかなり冬は寒いらしく、冬が来るのが楽しみになりました。それにしても、かさばる上、重たいであろうプレゼントを我々の為にと感激しました。それから、私の68歳、愛猫銀子の1歳の誕生日をみんなで祝ってくれて忘れられない誕生日になりました。

フランスの陶芸家0の時もアメリカのカップル、RとSの我が家に滞在中も1歳の保護猫銀子が上手におもてなしをしてくれたと確信しております。銀子は先住猫、オス4歳の棒の臆病でシャイな性格と違い、銀子は行儀が悪く、いたずら好き、誰にでも寄って行く憎めない性格がみんなの笑いを誘っておりました。

岡山で唯一のサーバス会員として気軽に皆さんにお越し頂ける家を目指していきたいと思います。サーバスに入会前に知り合った名古屋のご夫婦が今月に京都の女性が6月に滞在予定です。サーバス会員は6月21日に台湾のご夫婦、8月には熊本の精力的にサーバス活動をされている女性、9月にはスペインのご夫婦が滞在予定です。



6 2025 年度日本サーバス中国四国支部春の例会報告

T. M.

日時:2025 年 4 月 20 日(日)14:00-15:30

場所:お気軽会議室 広島紙屋町 Leaf およびオンライン 議長:S. Y. 書記:T. M.

議題

1. 会員自己紹介 対面参加 4 名&オンライン参加 4 名/17 名 (中国四国支部の会員で休会中を除く)

2. 新役員と係分担確認

・支部役員

支部長: T. M. 副支部長: S. Y. 会計: K. T.

会計監査: S. S. ホストコーディネーター: U. T.

面接担当: Y. N.

・支部担当係

広報係: N. M. ・ I. H. (補佐) ユース係: M. R. ・ T. A. (補佐)

書記: 輪番制 H→ U→ Y→S. Y. →N →S. S. →U →K →T →I
→T →M →K

3. 2025 年度活動計画

(1) 第 1 回: 春の例会 (今回) 年度初めの顔合わせ

(2) 第 2 回: 定期総会

日時: 12 月 7 日(日)14:00-16:00

場所: オンラインミーティング

内容: ・ 2025 年度支部活動報告および支部収支決算の承認

・ 2026 年度支部の活動計画および予算の承認

(3) 支部会報 2025 年度第 1 号発行計画

原案通りで進めることになった。

(4) その他

今年は企画係を作らず、秋のお楽しみ会を計画していないが、この指とまれ的にいろいろなイベントに参加していきたい。11 月 16 日の国際フェスタに遊びに行きたい。広島以外でも会員の呼びかけで集まることができると思う。今回の会議前のランチには 4 名参加で美味しい御膳を楽しんだ。

4. トラベラー受け入れおよびトラベラー申請の手順再確認

担当より、確認がなされた。受け入れ前にホストコーディネーターに連絡してほしい。受け入れ後には必ず Web ページの報告を送り、返ってきたものをホストコーディネーターと広報に転送してほしい。デイホストも場合も同じ。Web ページの国籍の欄の記入に迷うので所属サーバスに変更してもらうよう本部に要望することになった。

5. 国内会議の報告

①支部長より、3 月 15 日福岡で行われた国内会議の報告がなされた。今年度 A 業務は関東支部。

②熊野会員より、会議後の懇親会と翌日の巡検に参加した報告がなされた。

6. 国内会議に参加する会員の旅費補助について

議決権保持者には本部より旅費の補助があるが、そうでない人に支部から旅費を補助することについて意見交換した。今回は意見交換だけで決議は 12 月に行うこととする。



7 編集後記

広報担当 N. M.

中国四国支部に今、新しい風が吹いています。この新しい風は、古くからの会員の叡智と努力と行動力により築かれた今を、吹き渡る風です。存続すら危ぶまれたこの支部がその新しい風を受け、俄に活気付いています。数年前より広島県、鳥取県、愛媛県に新会員が次々と！さらに今年、私の知る限りでは長年会員ゼロの岡山県に新会員を迎えました。皆、モチベーション高く入会当初から、役員の重責を担う者あり、息つく暇も無く次々とトラベラーを受け入れる者あり、トラベラーとして海外での交流活動に励む者あり、国内会員との絆を深める者あり、誰もが皆、個性豊かにそれぞれの魅力を輝かせながら活動しています。たとえ少人数であっても、新しい風の力は大きく、サーバスの未来を築くパワーに溢れています。

今回改めて中国四国支部の今を形作る全ての会員を誇らしく思いながら 2025 年度第 1 号会報の編集作業を終えました。

ご多忙の中、原稿を何度もご推敲くださったり、心を込めてご投稿くださった執筆者の皆様に心より感謝申し上げます。

また、最終チェックやウェブ掲載の労を賜りました本部の担当の方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



庭のサクランボ